

第2回下野市行政改革推進委員会 会議録

日 時 平成27年10月8日(木) 午後1時30分～3時15分
場 所 下野市役所国分寺庁舎 304会議室
出席委員 杉原弘修会長、飯島陽子委員、関口博之委員、飯野洋委員、水上美紀委員、長光博委員、大木徳委員、園部小由利委員、中林佳子委員
欠席委員 小久保武委員
事務局 落合総合政策部長、星野総合政策課長、小谷野主幹兼課長補佐、坂巻副主幹、館野主事
傍聴者 なし

○次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 会議録署名人の指名
 - (2) 第1回下野市行政改革推進委員会会議録の確認について
 - (3) 行政評価市民評価10事業の選定について
 - (4) その他
- 4 閉会

○開会

(事務局) 第2回下野市行政改革推進委員会を開会いたします。

○あいさつ

(杉原会長) みなさんお久しぶりです。本日もよろしく申し上げます。

○議事

(1) 会議録署名人の指名

(杉原会長) 会議録署名委員を指名します。名簿順で、飯野委員と水上委員にお願いします。

(2) 第1回下野市行政改革推進委員会会議録の確認について

(杉原会長) 事前に送付した前回の会議録については、修正の意見は無かったということですが、改めて修正意見等があればこの場で発言をお願いします。無いようですので、確定させていただきます。

(3) 行政評価市民評価10事業の選定について

(杉原会長) 本日は市民評価を実施する10事業の選定を行いますが、まず事務局から説明をお願いします。

(事務局) 資料1に基づき説明

・それでは資料1「平成27年度下野市行政評価市民評価対象事業一覧表」をご覧ください。平成27年度における下野市の行政評価対象事業は全部で546事業ありました。その内、①総合計画後期基本計画に位置付けられている事業、その事業と明らかに直結的な事業、②平成28年度の事業費見込額が原則500万円以上の事業、③法令等で義務付けられている事業や政策的な判断を伴わないなど、市としての裁量の余地が少ない事業は対象外、とした3つの抽出条件を満たした事業が今回の市民評価対象事業として167事業となっております。

・本日は、一覧表をもとに市民評価対象事業として各委員が事前に10事業程度選んできていただいたものを、協議・検討して、委員会としての10事業の選定を行っていただきます。

・選定については、資料1に記載のとおり、多くの事業について市民評価を行っていただく観点から市民評価未実施事業を優先していただくこととし、今まで市民評価対象事業となった10事業については原則として選定対象外とすることとしていただきたく、一覧表には平成24・25・26年度の対象事業が分かる表示をさせていただいております。また、一つの部署に極端にかたよらないよう部ごとの対象事業数を掲載しております。

・事業推進方針に記載されている、「積極的に推進する事業、または計画通り実施する事業」や「事業内容を見直しながら実施する事業」という評価については、今後の総合評価を経て最終的な判定となりますので、その点ご了承いただきますようお願いいたします。

・市民評価対象事業となった事業については、資料2「行政評価市民評価ヒアリング資料」を作成し、事前に参考資料と一緒に送付いたします。また、ヒアリング時には資料3「委員個別評価シート」にて評価を行っていただくこととなりますので宜しくお願いいたします。

(杉原会長) 委員の皆様には、あらかじめ10事業を選定していただいております。選定にあたっては、事業費の大きい事業、新たに予算が計上された事業、自分自身の関心が高い事業など、委員の方々それぞれに様々な選定基準があり、とても苦慮したことと思います。本日は、各委員が選定した10事業を発表していただき、選定した委員数が多い事業から市民評価に決定し、選定した委員数が同数の事業が複数あった場合などは、事業内容を確認し、協議・決定したいと考えております。なお、10事業と申し上げましたが、多少の増減は構いませんので、よろしく願いいたします。

それでは、私の選定しました事業につきまして、資料1の表一番左の抽出ナンバーで申し上げます。5番 コミュニティセンター指定管理者施設管理運営事業、41番 保育園共通事業、47番 薬師寺保育園事業、63番 地域ブランド支援事業、78番 道の駅しもつけ基金費、102番 サイクリングロード舗装繕事業、107番 通学路路側帯カラー化事業、137番 小学校コンピュータ管理事業、146番 下野国分寺跡保存事業、155番 南河内図書館管理運営事業の10事業です。
続いて、飯島委員お願いします。

- (飯島委員) 5番 コミュニティセンター指定管理者施設管理運営事業、10番 基金管理事務事業、15番 防犯対策事業、26番 一般廃棄物収集運搬業務委託事務費、58番 介護保険への負担事業、63番 地域ブランド支援事業、68番 農業基盤整備促進事業、112番 石橋駅周辺土地地区画整理事業特別会計繰出、126番 奨学金貸付事業、155番 南河内図書館管理運営事業の10事業です。
- (杉原会長) 続いて、関口委員お願いします。
- (関口委員) 6番 コミュニティ推進協議会運営事業、15番 防犯対策事業、26番 一般廃棄物収集運搬業務委託事務費、42番 児童館共通事業、71番 商工業振興事業、130番 小学校給食施設改修事業の6事業です。42番 児童館共通事業につきましては、類する事業であれば他事業でも結構です。
- (杉原会長) 続いて、飯野委員お願いします。
- (飯野委員) 2番 情報システム構築事業、15番 防犯対策事業、17番 消防団運営事業、26番 一般廃棄物収集運搬業務委託事務費、29番 相談支援事業、41番 保育園共通事業、46番 認定こども園整備事業、58番 介護保険への負担事業、68番 農業基盤整備促進事業、73番 中小企業制度融資促進事業の10事業です。
- (杉原会長) 続いて、水上委員お願いします。
- (水上委員) 26番 一般廃棄物収集運搬業務委託事務費、38番 きらら館改修事業、58番 介護保険への負担事業、69番 石橋南部ほ場整備地区内集会施設建設事業、87番 橋梁長寿命化修繕事業、137番 小学校コンピュータ管理事業、138番 中学校コンピュータ管理事業、140番 スクールアシスタント配置事業、161番 運動場管理事業の8事業です。137番と138番につきましては、重複する内容もあると思いますので、合わせてヒアリングと市民評価を実施できればと考えております。
- (杉原会長) 続いて、長委員お願いします。
- (長委員) 71番 商工業振興事業、72番 中小企業制度融資事業、73番 中小企業制度融資促進事業、117番 配水管拡張・改良事業、119番 水道施設維持管理事業、121番 水道施設整備事業、122番 石綿セメント管更新事業、123番 浄化槽設置補助金、124番 公共下水道維持管理事業、125番 農業集落排水維持管理事業の10事業です。商工会の視点から選定しました。
- (杉原会長) 続いて、大木委員お願いします。
- (大木委員) 1番 広報発行事業、10番 基金管理事務事業、15番 防犯対策事業、46番 認定こども園整備事業、55番 配食サービス事業、63番 地域ブランド支援事業、71番 商工業振興事業、101番 地籍調査事業、109番 緑の基本計画策定事業、126番 奨学金貸付事業の10事業です。
- (杉原会長) 続いて、園部委員お願いします。
- (園部委員) 4番 男女共同参画推進事業、11番 公債費管理事業、17番 消防団運営事業、24番 斎場使用料補助事業、60番 がん対策事業、64番

担い手支援事業、70番 共通商品券発行事業、79番 公共施設維持管理事業、107番 通学路路側帯カラー化事業、156番 図書館施設修繕事業の10事業です。

(杉原会長) 続いて、中林委員お願いします。

(中林委員) 5番 コミュニティセンター指定管理者施設管理運営事業、16番 防犯灯推進管理事業、26番 一般廃棄物収集運搬業務委託事務費、46番 認定こども園整備事業、54番 古山小学童保育事業、70番 共通商品券発行事業、100番 自治医大駅西口バリアフリー事業、101番 地籍調査事業、140番 スクールアシスタント配置事業、148番 しもつけ風土記の丘資料館整備事業の10事業です。

(杉原会長) それでは、事務局から集計結果を説明してください。なお、いずれの委員も選定しなかった事業については、省略してください。

(事務局) 1番 広報発行事業1名、2番 情報システム構築事業1名、4番 男女共同参画推進事業1名、5番 コミュニティセンター指定管理者施設管理運営事業3名、6番 コミュニティ推進協議会運営事業1名、10番 基金管理事務事業2名、11番 公債費管理事業1名、15番 防犯対策事業4名、16番 防犯灯推進管理事業1名、17番 消防団運営事業2名、24番 斎場使用料補助事業1名、26番 一般廃棄物収集運搬業務委託事務費5名、29番 相談支援事業1名、38番 きらら館改修事業1名、41番 保育園共通事業2名、42番 児童館共通事業1名、46番 認定こども園整備事業3名、47番 薬師寺保育園事業1名、54番 古山小学童保育事業1名、55番 配食サービス事業1名、58番 介護保険への負担事業3名、60番 がん対策事業1名、63番 地域ブランド支援事業3名、64番 担い手支援事業1名、68番 農業基盤整備促進事業2名、69番 石橋南部ほ場整備地区内集会施設建設事業1名、70番 共通商品券発行事業2名、71番 商工業振興事業3名、72番 中小企業制度融資事業1名、73番 中小企業制度融資促進事業2名、78番 道の駅しもつけ基金費1名、79番 公共施設維持管理事業1名、87番 橋梁長寿命化修繕事業1名、100番 自治医大駅西口バリアフリー事業1名、101番 地籍調査事業2名、102番 サイクリングロード舗装修繕事業1名、107番 通学路路側帯カラー化事業2名、109番 緑の基本計画策定事業1名、112番 石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計繰出金1名、117番 配水管拡張・改良事業1名、119番 水道施設維持管理事業1名、121番 水道施設整備事業1名、122番 石綿セメント管更新事業1名、123番 浄化槽設置補助金1名、124番 公共下水道維持管理事業1名、125番 農業集落排水維持管理事業1名、126番 奨学金貸付事業2名、130番 小学校給食施設改修事業1名、137番 小学校コンピュータ管理事業2名、138番 中学校コンピュータ管理事業1名、140番 スクールアシスタント配置事業2名、146番 下野国分寺跡保存事業1名、148番 しもつけ風土記の丘資料館整備事業1名、155番 南河内図書館管理運営事業2名、156番 図

書館施設修繕事業1名、161番 運動場管理事業1名、以上です。

(杉原会長)

委員の皆様ご確認していただきましたでしょうか。

選定した委員数が多い事業から市民評価に決定していきたいと思います。最も多い事業が、5名が選定した26番 一般廃棄物収集運搬業務委託事務費、次いで、4名が選定した15番 防犯対策事業、次いで、3名が選定した5番 コミュニティセンター指定管理者施設管理運営事業、46番 認定こども園整備事業、58番 介護保険への負担事業、63番 地域ブランド支援事業、71番 商工業振興事業となっており、以上の7事業は決定したいと思います。

続いて、2名が選定した事業は、10番 基金管理事務事業、17番 消防団運営事業、41番 保育園共通事業、68番 農業基盤整備促進事業、70番 共通商品券発行事業、73番 中小企業制度融資促進事業、101番 地籍調査事業、107番 通学路路側帯カラー化事業、126番 奨学金貸付事業、137番 小学校コンピュータ管理事業、140番 スクールアシスタント配置事業、155番 南河内図書館管理運営事業となっており、この中から3事業を選定したいと思います。

(事務局)

3名以上が選定し、決定した7事業を部ごとに分類しますと、総合政策部1事業、市民生活部2事業、健康福祉部2事業、産業振興部2事業となっております。残りの3事業については、部ごとに偏らないという観点を踏まえて選定をお願いいたします。

(杉原会長)

事務局から説明がありました。建設水道部と教育委員会の事業が選定されていけませんので、残りの3事業につきましては、建設水道部と教育委員会の事業のうち2名以上の委員が選定したのから選定することとしてよろしいでしょうか。意見等無いようですので、そのように進めたいと思います。

具体的には、101番 地籍調査事業、107番 通学路路側帯カラー化事業、126番 奨学金貸付事業、137番 小学校コンピュータ管理事業、140番 スクールアシスタント配置事業、155番 南河内図書館管理運営事業となります。教育委員会が多いようですので、教育委員会から2事業、建設水道部から1事業の選定とし、計3事業としたいと思います。

それでは、建設水道部の101番 地籍調査事業、107番 通学路路側帯カラー化事業から1事業の選定を行います。それぞれの事業について、選定した委員の理由を伺いたいと思います。

まず、101番 地籍調査事業につきまして、大木委員お願いします。

(大木委員)

昨年度も選定しましたが、選定されませんでした。事業内容が理解しにくい部分がありますので、ヒアリングを通して、事業内容について詳しく理解し、市民評価を行いたいと考えております。

(杉原会長)

続いて、中林委員お願いします。

(中林委員)

市内を回る機会が多いのですが、最近、空き家、空き地が増えているように感じ、所有者が近くにいなくなった場合、境界がわかりずらくなること

と思います。市において、境界の確認を行っているようですので、どのような取組をしているのか、また、今後、どのように役立っていくのか、ヒアリングを実施し確認したいと思い、選定しました。

(杉原会長) 次に、107番 通学路路側帯カラー化事業につきまして、園部委員お願いします。

(園部委員) 近年、全国的に通勤通学中の事故が起きています。それに対して市はどのような対応をしていくか、また、対応に関して問題点はないのか等を確認したいと思い、選定しました。

(杉原会長) 私が選定した理由ですが、路側帯のカラー化は非常にわかりやすく、実施すべきと思います。平成28年度に初めて500万円が予算化されており、この金額でどの位の範囲を実施できるのか、また、どのような基準でもって整備を進めていくのか、さらには、将来的には市内のどの程度をカラー化することを見込んでいるのかということに興味関心がありまして選定しました。交通量が多く、かつ、歩行者と自動車が分離されていない場所等が優先されることと推測しますが、実際にはどのような基準でもって進めていくのかということを確認したいと思います。

選定した委員の意見を確認しましたので、他の委員の意見も確認し、決定したいと思います。

(関口委員) 101番 地籍調査事業は、どういった事業になるのでしょうか。また、平成28年度に予算が減額になっている理由はなぜでしょうか。

(事務局) 公図と現地の土地の面積等が一致しないという状況があり、土地取引の円滑化等を目的に、行政が一括で実施していくという事業であり、長期的な事業計画に沿って実施しております。事業内容をみると、2年間をかけてひとつの地区の調査を進めていきますので、1年目に測量等、2年目には登記等の手続きとなり、実施する内容によって事業費が変動していると考えられます。事業規模が小さくなったから事業費が減額になるというよりは、実施する内容が変わることによる事業費の変動と考えられます。中林委員のご発言にあったように、空き地等で所有者が近隣にいない土地の境界をどのように確認していくのかという問題もあると思います。詳しい進捗状況や事業計画について確認したいということであれば、ヒアリングをしていただければと思います。

(関口委員) 事業計画を立て2年ごとに実施していくということであれば、事業費をさらに平準化する余地があるのではないのでしょうか。

(水上委員) 地籍調査は事業費が大きく、また、長期にわたる事業ということであれば、市民評価の事業とし、行政改革などの視点を踏まえて評価することが望ましいのではないのでしょうか。

(関口委員) 私もそのように思います。

(杉原会長) 追加で2名の委員から地籍調査を希望するという意見がありましたので、建設水道部からは、101番 地籍調査事業を市民評価の対象といたしません。

続きまして、教育委員会になります。まず、126番 奨学金貸付事業に

つきまして、選定された飯島委員の理由を伺いたいと思います。

(飯島委員) 近年中間層が少なくなり、貧富の差が拡大している中、小・中学生に対して、援助・支援を行う制度があり、ある行政では、総数の42パーセントにも及ぶ申請があったと聞いたことがあります。本市においても、教育費を負担することが困難な方に対して、どのように支援していくのかということを確認したいと思い、この事業を選定しました。

(杉原会長) 続いて、大木委員お願いします。

(大木委員) 事業費を見ますと、平成27年度は約660万円、平成28年度は約1,380万円ということで増額しています。この制度を必要とする人がどの程度増えてきているのかということを確認したいと思い、この事業を選定しました。

(杉原会長) 次に、137番 小学校コンピュータ管理事業につきまして、水上委員お願いします。

(水上委員) 設備投資ということで、事業費が大きくなっています。コンピュータは、日進月歩の分野ですが、新しく優れた技術を取り入れることで、同じ教育効果を上げながら事業費を抑えることができる可能性があるのではないかと思います、この事業を選定しました。

(杉原会長) 私が選定した理由ですが、まず、小学校と中学校がある中、小学校を選んだ理由につきましては、小学校は数が多く予算が大きいからです。

この事業については、前期総合計画の期間中にも市民評価の対象となりましたが、その際のヒアリングにおいては、日々進歩するコンピュータ技術に対して、整備後に十分に活用できる体制や環境が整っていないという印象を受けたように記憶しております。大きな費用をかけ整備したものが十分に活用されるのか確認したいと思います。また、学校でのコンピュータに関する教育が、家庭でのコンピュータの利用にどの程度活かされているのか確認したいと思います。学校のコンピュータには、様々な規制、制限がかかっていますが、家のコンピュータでは規制、制限なく、どのような操作もできます。しかし、そのような状況を踏まえ、学校と保護者が話し合い、どのように教育すべきかと検討されている様子も見受けられません。コンピュータの良い面だけが強調されてしまっているように感じますが、コンピュータの危ない面をどのように教育していくのか確認したいという観点から、この事業を選定しました。

次に、140番 スクールアシスタント配置事業につきまして、水上委員お願いします。

(水上委員) 事業内容を詳しく確認したいという興味関心から選定しましたので、他の事業を優先していただいて構いません。

(杉原会長) 続いて、中林委員お願いします。

(中林委員) 学校では介助を要する子どもたちが増えており、そういった子ども達も、普通学級で勉強できる体制を確保するために、スクールアシスタントという制度があることと思います。しかし、別の機会を確認した資料では、スクールアシスタントの削減があったように記憶しており、今後の見通しや

教育委員会の考え方を確認したいと思い、この事業を選定しました。

(関口委員) 事業内容としては、スクールアシスタントの配置とありますが、具体的にはどのような事業なのでしょうか。

(事務局) 学校の実情に応じたスクールアシスタントの配置、また、それにもなう報酬が事業費となっています。スクールアシスタントは、学級生活等の補助、図書運営管理補助、学習指導補助、パソコン授業補助に分かれ、市内で約50名程が配置されています。

(大木委員) 平成28年度の事業費が6,173万円とありますが、人件費が多くを占めているのでしょうか。

(事務局) 報酬が、6,168万円となります。

(水上委員) 非常に重要な事業であると思いますが、事業推進方針は「積極的に推進する事業、または計画通り実施する事業」とあり、私個人としては、その方針は妥当だと判断していますので、他の事業を優先的に選定していただいて構いません。

(中林委員) 私も他の事業を優先していただいて構いません。

(杉原会長) 次に、155番 南河内図書館管理運営事業につきまして、飯島委員お願いします。

(飯島委員) 南河内図書館は、指定管理者制度を導入していませんが、旧町時代からの施設ですので、老朽化が進んでおります。今後も、あの建物を継続して使用していく予定ですが、薄暗い箇所もあるので、改善されないかと思っております。また、パソコン等が普及した中で、子どもの利用率はどのようになっているのか、今後の運営をどのように考えているのか確認したいと思い、この事業を選定しました。

(杉原会長) 私が選定した理由ですが、私は、宇都宮市の河内図書館をよく利用しております。この図書館でお話しボランティアをしておりますが、図書館の運営に係る予算がとても少ないことから、ボランティアの熱意によって、どうか子ども達に本を読んでもらうようなムード作りを行っています。施設が充実している近代的な図書館では、利用者も多いようですが、施設が古い図書館は、マンパワーを活用して、どのような取組を展開していくかということが重要であります。そのような事について、図書館の運営に携わって職員の方から意見を伺いたいと思い、この事業を選定しました。個人的な興味関心によるところが大きいので、他の事業を優先的に選定していただいて構いません。

4事業の選定理由について、発表していただきました。2事業を選定することとなりますが、いかがでしょうか。

(水上委員) 126番 奨学金貸付事業と137番 小学校コンピュータ管理事業が適当ではないかと考えます。

(飯島委員) 私は、155番 南河内図書館管理運営事業を選定しましたが、子どもを対象とした事業を選ぶという観点であれば、126番 奨学金貸付事業と137番 小学校コンピュータ管理事業の2つがよろしいかと思えます。

(杉原会長) 他の委員の方は、ご意見ありますでしょうか。無いようですので、教育委

員会からは、126番 奨学金貸付事業、137番 小学校コンピュータ管理事業を市民評価の対象といたします。よろしいでしょうか。

(関口委員)

137番 小学校コンピュータ管理事業は、138番 中学校コンピュータ管理事業と合わせて市民評価の対象とすることはできないでしょうか。内容では重複する部分もあると思います。

(杉原会長)

137番 小学校コンピュータ管理事業と138番 中学校コンピュータ管理事業を合わせて市民評価の対象できないかとの意見がありました。同じ教育委員会の事業ですから、ヒアリングは特段支障はないかと思っておりますので、137番 小学校コンピュータ管理事業と138番 中学校コンピュータ管理事業を合わせて市民評価の対象事業としたいと思っております。以上で市民評価対象事業の選定が終了しましたが、確認のため事務局から報告をお願いします。

(事務局)

報告いたします。

5番 コミュニティセンター指定管理者施設管理運営事業

15番 防犯対策事業

26番 一般廃棄物収集運搬業務委託事務費

46番 認定こども園整備事業

58番 介護保険への負担事業

63番 地域ブランド支援事業

71番 商工業振興事業

101番 地籍調査事業

126番 奨学金貸付事業

137番 小学校コンピュータ管理事業

138番 中学校コンピュータ管理事業

の11事業です。

(杉原会長)

よろしいでしょうか。異議がなければ、この11事業で決定したいと思います。

(関口委員)

異議ではありませんが、5番 コミュニティセンター指定管理者施設管理運営事業について、発言させていただきます。市内にはコミュニティセンターが無い地区もありますが、今後、市としてはコミュニティセンターの整備についてどのように考えているのか、また、整備にあたっては、部屋の広さ等にどのような条件があるのか確認させていただきたい。あるコミュニティセンターですと、総会を開催できる広さの部屋がなく、総会の度に公民館を利用しており、年間の公民館の使用料が概算でも1万円を超えてしまっている状況がありますので、コミュニティセンターの整備に関する基本的な考え方を伺いたいと思っております。

(杉原会長)

関口委員の意見については、事務局から所管課へ連絡させていただきますようお願いいたします。

他の委員の方はありますでしょうか。無いようですので、11事業を決定したいと思います。

(4) その他

- (杉原会長) 委員の皆様からご意見等ありますでしょうか。
- (飯野委員) 昨年度の会議において、個別評価シートの様式につきまして意見を述べさせていただきました。様式は変更されていないようですが、内部での検討はされたのでしょうか。
- (事務局) 現在策定しています第二次総合計画の中で、行政評価及び市民評価の実施方法についても見直しを進めております。見直しの中では、昨年度いただきました個別評価シートの様式等についての意見を踏まえ、平成28年度の市民評価から新しい方法や様式で実施したいと考えております。
- (杉原会長) 総合計画と合わせて見直しを進めているということですね。委員の皆様からの意見を活かしていただき、より効果的な市民評価となるよう検討していただきますようお願いいたします。下野市の市民評価は、報告書の中で委員からの個別意見が記載されているということが特徴的であります。他市町の報告書を見ますと、委員会の評価のみの記載となり、委員の個別意見は付属資料として取り扱うことが多いようです。これは評価できる特徴かと思いますので、継続していただければと思います。
- (事務局) 他の委員の方はありますでしょうか。事務局からありますでしょうか。
- (事務局) ヒアリングについては、どの事業をどの日に行うか関係部署と日程調整し、改めて部署名を入れた日程表を各委員には配布いたします。
- 次回の日程は、11月12日(木)です。4事業のヒアリングを予定しています。ヒアリング資料については、事前に送付させていただきますのでご確認いただきますようお願いいたします。
- (杉原会長) 委員からご意見等ございますか。意見等無いようですので、議事は終了いたします。

○閉会

- (事務局) 以上をもちまして、第2回下野市行政改革推進委員会を閉会いたします。

以上

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためにここに署名する。

会 長

署名委員

署名委員